

み ま ち だ こ ふ ん し ゅ つ ど ひ ん
111. 三町田古墳出土品

■ 指定日

昭和60年4月23日

■ 種別

有形文化財 考古資料

■ 年代

古墳時代後期

■ 所在地

朝来市山東町大月 埋蔵文化財センター

■ 所有者

朝来市



■ 内容

三町田古墳の埋蔵品は多数の須恵器と刀子・馬具であったが、指定されているのは、そのなかの金銅装の杏葉3・鏡板2・雲珠1・辻金具3の馬具類。

古墳は、伊由谷納座の西端にあり、圃場整備の際に発掘調査されたが、既に盗掘されていた。馬具類は、北側袖石のそばの落石の下から発見された。

杏葉は、地金の上に薄板を張って斜格子文を作り、その上に金銅薄板を重ねて鋳留している。帯金具は、板の上に5本の鋳を打って作られている。

鏡板は、やや小振りで杏葉と同じ形をしており、引手と銜が着装されている。製作技法は杏葉と同じである。

雲珠・辻金具は、円形・方形の脚を付けたものである。